

OMIYA プロジェクト 都市の夢

OMIYAプロジェクト・都市の夢では、活躍中の4人のアーティストがしなやかな感性と独創的な手法で、氷川の杜や周辺市街の空間を彩りやわらかに息づかせます。大宮のまち歩きにアクセントに本プロジェクトの作品を加えてお楽しみください。素敵なアーティストと時間を共有できるユニークなワークショップもどうぞお見逃しなく。



小野養豚人 Yotonn Ono

8/18(日)・25(日)「空飛ぶトンちゃん
マラカスをつくってみよう！」

埼玉県立近代美術館(終了)

9/24(土)「空飛ぶトンちゃん大行進！」

14:00~16:00 市民会館おおみや旧地下食堂、
山丸公園、ほか
ダンス協力: 山田祐
奈、上条 英 / 作詞・作曲: 大澤加寿彦 / トントン隊員: 別
城拓志、宮地彩百合、松室ひかり、早川果歩、飯田瑠璃子

トンちゃんマラカスを鳴らしてトンちゃんダンスで楽し
みましょう。トンちゃんマーチも初公開。

9/24(土)~11/6(日)「小野養豚人 食堂展」

10:00~18:00 水曜休

市民会館おおみや・旧地下食堂 SMF学校内(*本展は「さいたまトリエンナーレ2016」アートプロジェクト「SMF学校」の一環です)

コメント:小野養豚人は、養豚場にて育ったことを芸術活動の軸として、身近な存在である豚をモチーフにして作品制作をしています。人間の姿や性格を豚に投影し、描出することで、生きることの欠点あるいは美点を探求し、作品を通じて人間社会を映し出します。一方で、生きることや食べることの根源に迫り、「生」を軸としたテーマで「生きる」ことの喜びと「いのちをいただく」ことの有り難みをコンセプトとして表現活動をしていきます。

略歴:1978年生まれ。養豚農家にて育ち、豚をテーマに芸術活動を行う。埼玉県立近代美術館、川越市立美術館、中之条ビエンナーレなど展覧会多数出品。アートワークショップを実施するなど各地で豚の芸術活動を行う。



小野養豚人「Born to Live」2012



松本秋則 Akinori Matsumoto

11/3(木・祝)「不思議美術家・松本秋則
さんと楽しむ気まぐれ音楽隊」

13:30~15:30 市民会館おおみや・旧地下食
堂、氷川参道ほか、
周辺市街。

不思議美術家・
松本秋則さんのフ
シギフシギなサウンドオブジェで音を鳴らしてアン
サンブルの練習をしたのち、氷川参道ほか周辺市街
をにぎやかにパレードします。

【対象者】小学生から一般まで(小学校3年生までのお子さまは保護者同伴で)

【定員】20名(事前申込み制・先着順)

【申込】「気まぐれ音楽隊参加希望」と明記し、お名前、年齢(小学校3年生までのお子様の場合は保護者のお名前・年齢も)、連絡用メールまたは電話・Fax番号を記入のうえ、メール(Kimagure@artplatform.jp)かFax(048-824-0118)で10/20までにお申し込みください。

コメント:どんな作品ですか? 私の作品を観たことのない人に説明するのに何時も困ってしまう。段ボール箱を押すとカエルの様な音がしたり、茶筒や刀の缶型の楽器でピエーンとかカーンみたいな、おもしろい音がします。楽器ですか? おもちゃですか? どちらもと言えるし、言えないです、私は音具と呼んでいます。私のオリジナルの作品で50種類位有り、発想だいたいいろいろ遊び方が出来ます。驚きと不思議の世界が待っています。楽器の演奏の出来ない人、音楽の嫌いな人、特におすすめです。

略歴:1951年生まれ。1981年よりサウンド・オブジェ(音の出る作品)の創作を始める、それらを使用してギャラリー、美術館、野外など様々な場所で展示をする、近年はサウンド・オブジェを利用して、音楽、美術、演劇を融合したアキノリウムと言う新しいジャンルを開拓中。



松本秋則ワークショップより(参考)



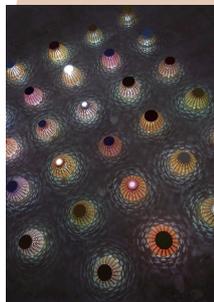
田中清隆 Kiyotaka Tanaka

9/24(土)~12/11(日) アート散歩:
光のかたちを探して

大宮駅~氷川神社~市民会館おおみや~さいたま新都心駅。

光のオブジェを制作している田中清隆さんが、みなさんの大宮散策のお手伝い。SMF学

校から大宮駅周辺のアートスポットやカフェギャラリーに置かれた光の作品を訪ねて素敵な出会いや憩いのひと時をお楽しみください。ほっこり落ち着く空間でお茶やお菓子もいいたいです。7個以上スタンプを集めて応募すると特製メッセージカードがもらえます。な、なんと抽選で光のオブジェも当たります。作品は大宮駅観光案内所、さいたま新都心観光案内所をはじめ、周辺市街協力店舗等約10か所に設置、マップ兼応募用スタンプカードは各ポイントで配布します。設置場所の詳細はSMFホームページでもお知らせします。店舗により開店の曜日・時間が異なりますのでご注意ください。



田中清隆「光のかたち」(参考)

コメント:「光」を素材としてとらえ、その「光」とその他の素材との関係性の作品を造形することを追究。「光」でどれだけ遊べるのか、楽しめるのかをテーマとして制作しています。近年は、「光」を用いて「影」の表情を見せる作品の数々を展開、触れたり、動かしたり、できる作品を試みている。

略歴:1984年多摩美術大学大学院修了。86年「光」を素材とした立体造形・空間構成作品を制作・発表開始。以降、毎年(2003除く)個展開催。他、イベント企画、ディスプレイ・インテリアなど発表多数。

このOMIYAプロジェクト/TANBOプロジェクトは、「さいたまトリエンナーレ2016」のエンドロープロジェクトとして市民会館おおみや内に開校する「SMF学校」と連動するプログラムとして「あなたとどこでもアート実行委員会/SMF」が企画し文化庁の助成をいたいて実施するものです。



井上唯 Yui Inoue

11/19(土)~11/27(日)旅するキノコ
in 氷川参道 野外展示 平成広場周辺

どこからともなく現れた清楚な旅するキノコ、日暮れとともにほんのりと光って儼かな参道を彩ります。

11/19(土)ワークショップ「ヒカルキノコを作ろう!」13:00~16:30 市民会館おおみや・旧地下食堂 SMF学校 定員15名

形状記憶ファイバーを編み込んでヒカルキノコをつくります。

【対象】小学生から一般まで(小学校3年生までのお子さまは保護者同伴で)

【定員】15名 【材料費】300円

【申込】「ヒカルキノコ希望」と明記し、お名前、年齢(小学校3年生までのお子様の場合は保護者のお名前・年齢も)、連絡用メールまたは電話・Fax番号を記入のうえ、メールSMFschool@artplatform.jp またはFax:048-824-0118で10/31日までに申し込みください。(*このワークショップは「さいたまトリエンナーレ2016」アートプロジェクト「SMF学校」の一環です)



井上唯「旅するキノコ」(参考) PHOTO_AMANO STUDIO

コメント:いつのまにか現れ、いつのまにか消えているキノコ。今回は、氷川神社の参道に、たくさんの白いキノコが姿を現します。そしてあたりが暗くなる頃、キノコたちは囁くようにそっと光り始めます。大宮はかつてキノコの名産地であり、氷川神社の周りにもたくさんのキノコが生えていたそうです。そんなことも想像しながら楽しんでいただけると嬉しいです。

略歴:1983年愛知県生まれ。金沢美術工芸大学大学院 染織専攻修了。“織り”や“編み”といった生活の知恵に根ざした技法を用いながら、特定の場所に対して新しい何かを存在させるような制作を行う。

主催:あなたとどこでもアート実行委員会/SMF(Saitama Muse Forum)

協力:さいたまトリエンナーレ2016 実行委員会、公益社団法人さいたま観光国際協会、公益財団法人さいたま市公園緑地協会、JR大宮駅、

氷川神社、各協力施設・店舗

問合せ:あなたとどこでもアート実行委員会(埼玉県立近代美術館内)

Tel:048-824-0110(中村・菅浦澤・大越) SMF.info@artplatform.jp